

# つくばスマートシティ協議会令和5年度第2回臨時総会 議案書

## 決議事項

第1号議案 「令和5年度事業計画及び予算の変更について」

- ・資料1-1 令和5年度事業計画書
- ・資料1-2 令和5年度収支予算書

第2号議案 「理事の選任について」

- ・資料2-1 理事の選任について

## 【第1号議案】

### 令和5年度事業計画及び予算の変更について

規約第30条第1項の規定に基づき、協議会の事業計画書及び収支予算書の変更について審議願いたい。

資料1-1 令和5年度事業計画書

資料1-2 令和5年度収支予算書

#### 理由

行政サービス分科会において会員企業から先端的サービスの提案があり、当該事業を実施するための事業計画及び予算の変更をするものです。

#### 変更内容の概要

実証事業に住民意向把握事業を追加。住民意見の収集ツールを活用し、つくば市民がつくばスーパーサイエンスシティ構想に対してどの程度の理解、認知を持っているのかを把握し、収集方法や収集ツールの有効性を検証するものです。

#### 【参考】

##### 規約（抜粋）

（事業計画及び収支予算）

第30条 協議会の事業計画書及び収支予算書は、毎事業年度の開始の前日までに、理事会の決議を経て、総会の承認を得なければならない。これを変更する場合も、同様とする。

## 令和5年度事業計画

### 1 活動方針

本協議会の目的達成のため、次のとおり活動を展開する。

- (1) つくばスマートシティの実現に向けて、社会実装を見据えた実証実験等の取組を実施する。
- (2) つくばスーパーサイエンスシティ構想の実現に寄与するため、先端的サービスの実装に向けた取組や検討、大胆な規制改革や新たなルール、制度設計に向けた検討を実施する。
- (3) 分野横断的に様々なデータの利活用を図るための情報連携システム基盤の運用管理を実施する。
- (4) つくばスマートシティ、つくばスーパーサイエンスシティ構想の実現に向けて、必要な取組に対して会員機関が相互に知見を出し合い、協力、連携する。

### 2 事業計画

#### (1) 実証事業

つくばスマートシティの実現に向けて、社会実装を見据えた実証実験等の取組を実施するため、政府スマートシティ関連事業等を活用する。

#### ① 令和3年度補正予算事業国土交通省スマートシティ実装化支援事業（令和4年度からの繰越事業）

移動に課題を感じている高齢者等を対象として、日常生活における特徴的なシーンごとにサイバニックモビリティの試用を実施する。安全機能への安心感等に関するアンケートや搭乗者の生理情報や周辺環境情報等の計測データから安全に移動支援できていたかを検証することで、実際の日常生活の一部において安心・安全な屋内外移動が可能となることを実証する。

#### ② パーソナルモビリティシェアリングサービス可能性調査事業

移動用小型車、遠隔操作型小型車及び身体障害者用の車等について、個別の許可なく、保安要員なしで最高速度10km/hでの走行の実現に向け、センサー等の技術を活用した保安要員に代わる安全対策の効果の検証を目的とする公道実証実験を実施する。

また、最高速度10km/hのモビリティを活用したシェアリングサービスの実装に向けて、現行法で走行可能なモビリティを活用したシェアリングサービスのサービス実証をつくば駅周辺のペDESTリアンデッキにおいて実施する。

#### ③ 医療機関向けAIオンデマンド乗合タクシー実装化支援事業

高齢者等の交通弱者に医療機関への移動手段を提供するため、つくタクの一部車両にAIオンデマンドシステムを搭載した乗合タクシーを導入する。つくば市とつく

タク運行事業者、他地域で実績のあるシステム開発事業者と連携し、本年度は、つくば市に適したAI オンデマンドシステムを開発し、つくば市谷田部地区に2台のAI オンデマンド乗合タクシーを導入し、実装化に向けて実証実験を実施する。

#### ④ 自動追従等ロボットによる荷物搬送サービス可能性調査事業

高齢者や児童など重量物の運搬が困難な市民に対し、自動追従等ロボットによる荷物搬送サービスの社会実装の可能性を調査する。

#### ⑤ 住民意向把握事業

住民意見の収集ツールを活用し、つくば市民がつくばスーパーサイエンスシティ構想に対してどの程度の理解、認知を持っているのかを把握し、収集方法や収集ツールの有効性を検証する。

### (2) 情報連携システム基盤運用管理

オープンデータやモビリティの位置情報等の各種データとつくば市の課題解決に資する先端的サービスを連携させる情報連携システム基盤の運用管理を実施する。

### (3) 協議会運営

#### ① 分科会の開催

つくば市が抱える地域課題の解決や茨城県をけん引する都市づくりを実現するスマートシティプロジェクトの具体化を図るとともに、つくばスーパーサイエンスシティ構想の先端的サービスの実装に向けた検討、大胆な規制改革や新たなルール、制度設計に向けた検討を実施する。

#### ② 情報発信活動

技術展示会等の開催や各種展示会等のイベントに出展し、つくばスマートシティ協議会の活動や会員機関の取組について情報発信及び広報活動を行うとともに、各種事業の他地域への横展開を行うため視察の受入れを行う。また、広報活動に資するため、パンフレットを制作する。

#### ③ 情報収集・共有

他地域におけるスマートシティの動向、スマートシティ化に資する最新技術など、会員間での情報収集・共有を図る。

### (4) その他

その他本協議会の目的達成に必要な事業を実施する。

## 令和5年度 つくばスマートシティ協議会 収支予算

## 1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	備考
会費	10,033,300	年会費 300,000円×23社 6,900,000円 100,000円×21社 2,100,000円 275,000円×1社 275,000円 225,000円×1社 225,000円 200,000円×1社 200,000円 91,700円×1社 91,700円 58,300円×2社 116,600円 125,000円×1社 125,000円
補助金	4,000,000	令和3年度補正予算事業国土交通省スマートシティ実装化支援事業(補助金) 4,000,000円
負担金	88,801,600	<u>先端的サービス実装可能性調査負担金(つくば市)</u> 77,839,000円 情報連携システム基盤運用管理費(つくば市) 10,962,600円
その他	330,000	視察費 60,000円×2自治体 120,000円 雑費 210,000円
前年度繰越金	4,105,560	令和3年度補正予算事業国土交通省スマートシティ実装化支援事業地域負担金(CYBERDYNE株式会社) 4,015,000円 その他繰越金 90,560円
合計	107,270,460	

## 2. 支出の部

(単位:円)

科目	予算額	備考
事業費	97,816,600	令和3年度補正予算事業国土交通省スマートシティ実装化支援事業(CYBERDYNE株式会社)[令和4年度繰越事業] 8,015,000円 パーソナルモビリティシェアリングサービス可能性調査事業(モビリティ分科会) 34,189,000円 医療機関向けAIオンデマンド乗合タクシー実装化支援事業(Community mobility株式会社) 36,000,000円 自動追従等ロボットによる荷物搬送サービス可能性調査事業(モビリティ分科会) 6,000,000円 <u>住民意向把握事業(株式会社ハンマーバード)</u> 1,650,000円 情報連携システム基盤運用管理業務(日本電気株式会社) 10,962,600円 技術展示会会場使用料、会場設営委託 1,000,000円
事務費	9,453,860	事務局運営支援 5,000,000円 ネットワーキングイベント費 500,000円 パンフレット制作・印刷費 1,500,000円 <u>事務局運営事務費(消耗品、ZOOM契約、振込手数料等)</u> 2,453,860円
合計	107,270,460	

## 【第2号議案】

### 理事の選任について

規約第15条第2項の規定に基づき、協議会の理事の選任について審議願いたい。

#### 資料2-1 理事の選任について

理由

理事 宇賀 伸二氏から、令和5年12月28日付で辞任する届が提出されたことに伴い、後任者を選任するものです。

## 【参考】

規約（抜粋）

（理事及び監事）

第15条 協議会に、次のとおり理事及び監事を置く。

(1) 理事 3名以上10名以内

(2) 監事 1名以上2名以内

2 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

3 理事のうち1名を理事長とし、理事会において選任する。

## 理事の選任について

理事 宇賀 伸二から令和 5 年 12 月 28 日付で辞任する届が提出されたことに  
伴い、後任者を選任するものです。

については、下記の者を理事に選任することについて審議願います。

## 記

理事 本田 信司

任期：総会の決議のあったとみなされる日から前任者の任期の満了する時（令和  
6 年度定時総会の終結の時）まで

以上

## 参考

辞任届のあった理事		理事の後任者の候補	
氏名	所属等	氏名	所属等
宇賀 伸二	CYBERDYNE 株式会社	本田 信司	CYBERDYNE 株式会社